



東京のまちづくり

特集1

・東京都河川愛護月間関連行事のお知らせ
～つどう・にぎわう・こころ潤う 東京の川～

特集2

・府中の森公園の球技場が「サッカー・ラグビー・ホッケー場」にリニューアルオープン! 愛称は「府中の森フィールド」

特別特集

・小石川後樂園
最盛期のハスを楽しむ「早朝開園」「早朝観蓮会」



令和6年度河川愛護月間



府中の森フィールド



小石川後樂園のハス

東京都河川愛護月間関連行事のお知らせ ～つどう・にぎわう・こころ潤う 東京の川～

7月は河川愛護月間です。東京都では、東京の川に親しみや愛着を持っていただくため、河川愛護に関わる各種行事※1を開催します。

※1 河川愛護に関わる各種行事について
良好な河川環境の保全・再生などの推進や、河川愛護意識の醸成を目的として、毎年7月を河川愛護月間とし、国土交通省及び東京都をはじめ、各自治体が様々な行事に取り組んでいます。



東京都が主催する令和6年度行事

川のフォトコンテスト

東京の川の姿や川の魅力、川への親しみ・愛着を捉えた都内の川の写真を募集しました。応募作品は、特設HPや川のパネル展にて公開予定ですので、是非ご覧ください。

昨年度受賞作品



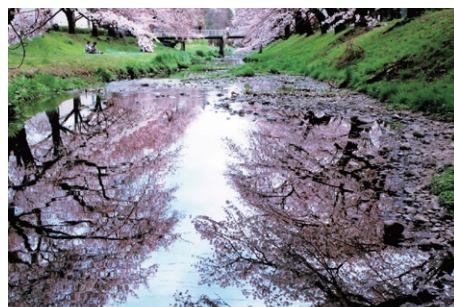
最優秀賞



優秀賞



特別賞



奨励賞

川を歩こう

下記5つのコースを開催します。身近な自然環境である河川により親しんでいただくため、川沿いを歩きながら川の様子や歴史、川づくりなどについて解説します。

コース名	開催日時	募集人数
①南浅川	10月5日（土） 9:30～12:30	40人
②旧中川	10月12日（土） 9:30～12:30	50人
③多摩川・奥多摩	10月12日（土） 9:00～12:00	50人
④隅田川	10月19日（土） 9:00～12:30	100人
⑤石神井川	10月19日（土） 9:30～12:00	50人

募集締切：9月6日（金）当日消印・受信有効

昨年度開催状況



旧中川



多摩川

川のパネル展

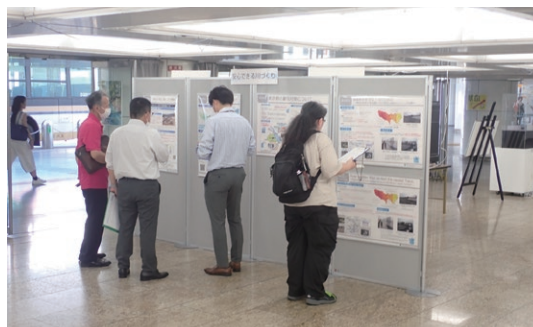
低地河川（隅田川など）や中小河川（神田川など）の整備状況、土砂災害対策の取組、河川のおすすめ情報など、東京都が取り組む河川事業を紹介するパネルを展示します。

開催日時 8月27日（火）10:00～17:00
8月28日（水）・29日（木）9:00～17:00

開催場所 都庁第二本庁舎1階

※事前申込みは不要です。

昨年度開催状況



河川愛護月間行事については、東京都建設局河川部のHPに掲載しております。



河川に関する普及・啓発・利用促進HP

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/keihatsu/index.html>



まるで別のイキモノ!? ホンドテンの衣替え

井の頭自然文化園 飼育展示係 大河原陽子

暑い夏がやってきました。私たちヒトは着るものを調整して暑さや寒さをしのぎますが、毛でおおわれた哺乳類の中にも、季節によって毛を「着替える」ものがあります。哺乳類の毛が抜け換わることを一般的に「換毛」と呼びますが、季節がある地域にくらす哺乳類の多くは、冬毛から夏毛へ、夏毛から冬毛へと一気に換毛するのです。

その中でもホンドテンは、まるで別の生き物のように見た目が大きく変化します。上の写真は同じホンドテンの夏毛(左)と冬毛(右)の姿です。夏毛は顔が黒く、体はオレンジっぽい色をしており、細身の見た目が印象的です。一方で冬毛は顔が白く、体は明るい黄色で、夏と比べるとずんぐりと丸く見えます。毛の色も、そのボリューム感も、夏と冬で全然違うことがわかんと思います。

ホンドテンに見られるこのような換毛は、実は気温ではなく、日の長さの変化によって引き起こされることがわかっています。飼育下で行われた実験の結果、気温の変化があるにもかかわらず、明暗の周期が一定の環境では換毛が起こらない個体がいいた一方で、太陽の光が当たる自然条件下に移すと換毛が見られるようになったのです。

図鑑ではこの写真のように、完全に換毛が終了した夏毛と冬毛の姿が描かれますが、動物園では日々変化する換毛の過程をじっくりと観察できるのがおもしろいところです。ぜひ色々な季節に、その日の様子を観察してみてくださいね。

水族園の“かお”

葛西臨海水族園
ホウボウ

色鮮やかな大きな胸ビレが特徴的なホウボウ。「東京の海」エリアの「東京湾の漁業」水槽で展示しています。

